

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	福祉センターゆり花会館	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢 課
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)	評価者(課長)	土田 孝

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	R6延べ利用人数 52,002人 (入浴 48,892人、施設 3,110人)
サービス向上の取組	意見箱を設置し利用者の要望を聞くとともに、内容を職員間で共有しスピード感をもって対応した。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (R4年度)	前年度 (R5年度)	当該年度 (R6年度)	合計	備考
収入	指定管理料	23,842	24,505	22,792	71,139	基本協定額: 122,144 千円
	利用料金	9,482	11,132	11,953	32,567	
	事業収入				0	
	自主事業収入	1,264	1,513	1,601	4,378	
	その他			2	2	
	収入合計 ①	34,588	37,150	36,348	108,086	
支出	人件費	15,718	15,162	14,425	45,305	
	福利厚生費	72	72	88	232	
	事務費	72	66	59	197	
	管理費	10,016	10,024	8,862	28,902	
	水道光熱費	5,239	4,922	4,152	14,313	
	修繕料	2,389	2,525	1,902	6,816	
	使用料・リース料	627	549	629	1,805	
	手数料・保険料	183	176	173	532	
	委託料	1,578	1,852	2,006	5,436	
	事業費	10,178	10,485	9,147	29,810	
	自主事業経費	480	1,166	1,303	2,949	
	その他				0	
	支出合計 ②	36,536	36,975	33,884	107,395	
収支差額(①-②)		▲ 1,948	175	2,464	691	

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	◎	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	◎	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	◎	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	◎	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	◎	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	◎	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題	
	・コロナ禍以前の利用者数に達していないが自助努力等(宣伝広告、施設設備の整備等)により徐々に増えてきている。 ・電気料金等の物価高騰により経営環境が厳しさを増しており、節電・節水等で経費削減を実施しているが収支状況の改善には厳しい状況にある。
(2) 課題解決に向けた取組	
	・施設内の整理整頓及び衛生管理、温泉施設の温度管理等を適切に行い、利用者の増加とサービス向上に努める。 ・利用者数の増加に向け、道の駅・商店などに宣伝広告のポスターを掲示する。また国道側の看板に宣伝表示をする。 ・冷暖房や換気扇等、必要のない所の電気スイッチを切り節電に努める。
(3) その他	
	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 ・主に温泉施設の整備等に係わる意見要望が挙がった(詳細については別紙、令和6年度福祉センターゆり花会館アンケート要望等についてを参照)。丁寧な説明や施設整備を継続して安心安全な利用ができるように努める。
	②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価	
	意見箱等のご意見・ご要望に対してはスピード感をもって対応し、利用者が安心・安全に施設を利用できるように努めた。コロナ禍の影響は少なくなっており、徐々に利用者が増えてきている。
(2) 施設所管課の評価	
	利用者からの要望や意見等に対して迅速に対応し、サービスの向上に努めている。定期的な消毒や換気等は、新型コロナウイルスの5類移行後も継続して実施されており、衛生的で安心安全な施設運営につながっていることから、利用者にとっても満足度が高くなっていると考ええる。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	
	引き続きコロナ禍以前並みの利用者となるよう集客に努めていただくとともに、光熱水費等についても過去のデータ等と比較するなど確認を行いながら施設の適切な管理運営に努めていただきたい。また、福祉センターとしての役割を十分踏まえ、設置目的である市民の健康の維持増進と福祉、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与がなされるよう、自主事業等の実施に努めていただきたい。